

科目名	欧米文化論特講	担当者	アキクサ 秋 草 シユンイチロウ 俊 一 郎	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	---------------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	<p>1990年代以降欧米において、西洋中心という批判をうけて比較文学が危機に瀕する一方、かわって台頭した新しいディシプリンである「世界文学」の課題を理解する。世界文学と言われてもぴんぴんとこないと思われるが、今までの文学研究が原文の精読を金科玉条にしていたのにたいして、翻訳や流通を重視する立場であり、場合によっては翻訳による研究も許容する。また、ダムロッシュに顕著のように「メタ文学研究」的な側面も強い。こうした概念を理解したうえで、自分でその枠組みを用いて文学作品にアプローチできるようになることを求める。</p>		
到達目標	<p>海外の比較的新しい学術書の議論の水準を知り、(翻訳とはいえ)読みこなし、批判できるようになること。 学術的レポートの形式を守って執筆できるようになること。 文学作品を社会学的観点からも読みとけるようになること。</p>		
学修方法	<p>教材および関係資料を精読のうえで課題にとりくむ。レポート作成にあたっては、草稿から最終稿に至るまで、履修者と教員のあいだでやりとりをしながら段階的にすすめる。レポート提出システム manaba を用いたうえで、面接ゼミ・サイバー・ゼミのいずれかに参加し、課題レポートについての報告をおこなうことが望ましい。</p>		
スケジュール	<p>前期： 7月中旬までに教材1のレポート課題(1)最終稿を提出。 レポート課題(2)については9月中旬までに最終稿を提出。 後期： 11月中旬までに教材2のレポート課題(1)最終稿を提出。 レポート課題(2)については2017年1月の課題提出締切日までに最終稿を提出。</p>		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	教材を精読理解し、課題に応える内容となっているか、また、学術論文の体裁が整っているか評価する。
	平常評価	20 %	メール、manaba、ゼミ等を活用して積極的に課題に取り組んだかを評価する。
履修者への要望	<p>レポート作成は修士論文執筆のための重要な準備である。教材を熟読し、可能な範囲で関係資料を参考にして課題にとりくむこと。引用については盗用にならないよう十分注意してほしい。また、ゼミ(面接・サイバー)への出席。発表、manabaのコミュニティや掲示板でのディスカッションなど、積極的な参加を求める。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： デイヴィッド・ダムロッシュ 教材名： 『世界文学とは何か?』（国書刊行会，2011年） ISBN:978-4-33-605362-6 5,600円+税
	ダムロッシュは現ハーヴァード大学比較文学科教授。世界文学のリーディング・スカラーである。ダムロッシュは流通・生産・翻訳という三つのアプローチから世界文学にアプローチしている。
参考図書	各章でとりあげられている文学作品を読むことを求める。 余裕があれば、パスカル・カザノヴァ『世界文学空間』（藤原書店）も読んでみてほしい。
履修上のポイント	課題は二つの章をまとめるというものだが、かならず全体を通読すること。
レポート課題 1	『世界文学とは何か?』から任意の章を二つとりあげ、内容を要約したうえで批判的意見を展開しなさい（各2,500字以上×2）。 留意点： 執筆にあたって引用・注など学術的形式を守ること。
レポート課題 2	『世界文学とは何か?』の議論をふまえて、自分なりに文学作品をひとつまたは複数選び、「世界文学」という論点から論じなさい（4,000字以上）。 留意点： 執筆にあたって参考文献を『世界文学とは何か?』、扱う文学作品以外にも最低一つあげること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： フランコ・モレッティ 教材名： 『遠読（仮題）』みすず書房（2016年夏発売予定，価格未定）
	フランコ・モレッティによる本書に収められた論文「世界文学への試論」が現在の「世界文学」ディシプリンにとって決定的な役割をはたした。モレッティは文学作品に対して「遠読」というアプローチを提唱するが、その実践例としての各章を読み、その成否を判断してしてほしい。
参考図書	木内徹・福島昇，西本あづさ監訳『世界文学史はいかにして可能か』成文堂，3500円 『ある学問の死 惑星的思考と新しい比較文学』みすず書房，2600円
履修上のポイント	まず「世界文学への試論」を読んだあとで、各章をその実践例として読んでみてほしい。
レポート課題 1	『遠読』から任意の章を二つとりあげ、内容を要約したうえで批判的意見を展開しなさい（各2,500字以上×2）。 留意点： モレッティの議論への批判としては参考図書にあげた文献が参考になる。
レポート課題 2	『世界文学とは何か?』の議論をふまえて、自分なりに文学作品をひとつまたは複数選び、「世界文学」という論点から論じなさい（4,000字以上）。 留意点： 執筆にあたって参考文献を『遠読』、扱う文学作品以外にも最低一つあげること。

科目名	欧米文化論特講	担当者	アキクサ 秋 草 シユンイチロウ 俊 一 郎	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	---------------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	1990年代以降欧米において、西洋中心という批判をうけて比較文学が危機に瀕する一方、かわって台頭した新しいディシプリンである「世界文学」の課題を理解する。世界文学と言われてもぴんとこないと思われるが、今までの文学研究が原文の精読を金科玉条にしていたのにたいして、翻訳や流通を重視する立場であり、場合によっては翻訳による研究も許容する。また、ダムロッシュに顕著のように「メタ文学研究」的な側面も強い。こうした概念を理解したうえで、自分でその枠組みを用いて文学作品にアプローチできるようになることを求める。		
到達目標	海外の比較的新しい学術書の議論の水準を知り、(翻訳とはいえ)読みこなし、批判できるようになること。 学術的レポートの形式を守って執筆できるようになること。 文学作品を社会的観点からも読みとけるようになること。		
学修方法	教材および関係資料を精読のうえで課題にとりくむ。レポート作成にあたっては、草稿から最終稿に至るまで、履修者と教員のあいだでやりとりをしながら段階的にすすめる。レポート提出システム manaba を用いたうえで、面接ゼミ・サイバー・ゼミのいずれかに参加し、課題レポートについての報告をおこなうことが望ましい。		
スケジュール	前期： 7月中旬までに教材1のレポート課題(1)最終稿を提出。 レポート課題(2)については9月中旬までに最終稿を提出。 後期： 11月中旬までに教材2のレポート課題(1)最終稿を提出。 レポート課題(2)については2017年1月の課題提出締切日までに最終稿を提出。		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80 %	教材を精読理解し、課題に応える内容となっているか、また、学術論文の体裁が整っているか評価する。
	平常評価	20 %	メール、manaba、ゼミ等を活用して積極的に課題に取り組んだかを評価する。
履修者への要望	レポート作成は修士論文執筆のための重要な準備である。教材を熟読し、可能な範囲で関係資料を参考にして課題にとりくむこと。引用については盗用にならないよう十分注意してほしい。また、ゼミ(面接・サイバー)への出席。発表、manabaのコミュニティや掲示板でのディスカッションなど、積極的な参加を求める。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： デイヴィッド・ダムロッシュ 教材名： 『世界文学とは何か?』（国書刊行会，2011年） ISBN:978-4-33-605362-6 5,600円+税
	ダムロッシュは現ハーヴァード大学比較文学科教授。世界文学のリーディング・スカラーである。ダムロッシュは流通・生産・翻訳という三つのアプローチから世界文学にアプローチしている。
参考図書	各章でとりあげられている文学作品を読むことを求める。 余裕があれば、パスカル・カザノヴァ『世界文学空間』（藤原書店）も読んでみてほしい。
履修上のポイント	課題は二つの章をまとめるというものだが、かならず全体を通読すること。
レポート課題 1	『世界文学とは何か?』から任意の章を二つとりあげ、内容を要約したうえで批判的意見を展開しなさい（各2,500字以上×2）。 留意点： 執筆にあたって引用・注など学術的形式を守ること。
レポート課題 2	『世界文学とは何か?』の議論をふまえて、自分なりに文学作品をひとつまたは複数選び、「世界文学」という論点から論じなさい（4,000字以上）。 留意点： 執筆にあたって参考文献を『世界文学とは何か?』、扱う文学作品以外にも最低一つあげること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： フランコ・モレッティ 教材名： 『遠読（仮題）』みすず書房（2016年夏発売予定，価格未定）
	フランコ・モレッティによる本書に収められた論文「世界文学への試論」が現在の「世界文学」ディシプリンにとって決定的な役割をはたした。モレッティは文学作品に対して「遠読」というアプローチを提唱するが、その実践例としての各章を読み、その成否を判断してしてほしい。
参考図書	木内徹・福島昇，西本あづさ監訳『世界文学史はいかにして可能か』成文堂，3500円 『ある学問の死 惑星的思考と新しい比較文学』みすず書房，2600円
履修上のポイント	まず「世界文学への試論」を読んだあとで、各章をその実践例として読んでみてほしい。
レポート課題 1	『遠読』から任意の章を二つとりあげ、内容を要約したうえで批判的意見を展開しなさい（各2,500字以上×2）。 留意点： モレッティの議論への批判としては参考図書にあげた文献が参考になる。
レポート課題 2	『世界文学とは何か?』の議論をふまえて、自分なりに文学作品をひとつまたは複数選び、「世界文学」という論点から論じなさい（4,000字以上）。 留意点： 執筆にあたって参考文献を『遠読』、扱う文学作品以外にも最低一つあげること。